

## 認知症地域支援ネットワーク事業（高齢社会対策区市町村包括補助事業 選択事業）

19、20年度の2か年で実施した「認知症地域資源ネットワークモデル事業」と「認知症支援拠点モデル事業」の成果を全般的に普及する

### 事業概要

認知症の人と家族の暮らしを支えている地域の人的資源、社会資源が参加したネットワークを構築し、地域における認知症支援の仕組みづくりを行う。

### 取組内容

- ◇「認知症本人と家族を地域で支援するネットワーク会議」の設置
    - ・認知症の人と家族を支えていくために必要な人材で構成する会議を設置し、取組み内容の検討や進行管理を行う
  - ◇「地域資源マップ」の作成
    - ・認知症の人と家族を支えることに役立つ地域の社会資源を掲載したマップを作成する。
  - ◇「徘徊SOSネットワーク」の構築
    - ・認知症の方が徘徊して行方不明になった場合に早期に発見するために、情報伝達のシステム作りなどの取組みを行う
  - ◇「認知症の人・家族同士のネットワークづくり」事業
    - ・認知症の人の家族会の活動の支援、立ち上げの支援、家族会間のネットワークの構築などを支援する
  - ◇「介護サービス事業者の認知症支援活動」の支援
    - ・介護サービス事業者が地域において認知症の人と家族を支援する認知症支援拠点としての自主的な取組みを支援する
- 〔例〕
- ・事業者が商店街の協力を得て、認知症の人が安心して買い物ができる店舗の所在地を掲載したマップを作成する。
  - ・休業日のデイサービスを利用して、サロン活動を実施する
  - ・24時間対応の認知症相談窓口を設置する
  - ・認知症高齢者に対応可能な仕事（洗車、清掃、日曜大工、雑巾づくり）を提供する就労デイの実施

### 事業内容

- ◇実施主体 区市町村
- ◇補助率 1/2
- ◇「認知症本人と家族を地域で支援するネットワーク会議の設置」と「地域資源マップの作成」は必ず実施し、その他の事業は選択とする
- ◇補助基準額
  - ・「認知症本人と家族を地域で支援するネットワーク会議」の設置 2,500千円
  - ・「地域資源マップの作成」 2,000千円
  - ・「徘徊SOSネットワーク」の構築 800千円
  - ・「認知症の人・家族同士のネットワークづくり」事業 200千円
  - ・「介護サービス事業者の認知症支援活動」 2,000千円

### 都の取組

- ◇21年度当初にモデル事業担当者（練馬区、多摩市、認知症支援拠点モデル事業所）によるモデル事業報告会を実施する。区市町村職員、介護事業者、都民を対象としたシンポジウム形式で実施。（拡大仕組み部会）
- ◇各区市町村担当者による連絡会を設置し、当該事業の他、認知症サポーター養成の推進・活用策など認知症対策全体について検討していく場として活用。（当該事業実施にかかわらず、全区市町村の担当者が参加）

### 3 「認知症対策推進会議」との連携

- ◇認知症地域支援地域資源ネットワーク事業の取組状況を、認知症対策推進会議において、報告・検証